

My GEO STORY vol.4

地元で活躍する人を紹介

山田 雅仁さん (浅間山北麓ジオパーク・専門員)

今月はこの4月からジオパーク事務局に着任した専門員・山田雅仁さんです。3月まで銚子ジオパークの専門員として5年間在職し、銚子ジオパークの活動を盛り上げてきた経験をもとに、浅間山北麓ジオパークに移籍。利根川の下流にあたる銚子市から上流域の浅間山麓に来るきっかけは？と聞くと「このエリアでジオパークの取り組みを始めた」と聞いて、実は以前に訪れたことがあった」と言い「フィールドワークが好きでしたし、浅間山という強烈な存在に個性を感じた」ので縁があったようだ。実は山田さんは、学生時代は北海道大学の工学部に所属していた。その後大学院の地球環境科学研究科で学んだ縁でこの世界にのめり込んできたというだけに、着任早々、時間があれば浅間高原のフィールドを探索していて、その熱意に関係者の期待も上昇中だ。意外にも専門分野は気象学なので、群馬らしくないこのエリアの気象？にも関心を寄せている。浅間山北麓ジオパークの印象を聞くと「人口の少ない地域なのに熱心な人が多くてびっくりしました」。



家族は妻と子供3人。銚子に家族を残して単身赴任。所属は長野原町。

ジオジオ豆知識 vol.4

浅間山が育む水の多様性

浅間山北麓で湧き出す湧水の温度を調べたところ、西側に比べ東側の方が3~4℃高く、約11℃であることがわかりました。北麓から見た浅間山は、向かって右側(西側)の黒斑山と、左側(東側)の前掛山に分けることができます。前掛山はその山頂火口から今でも噴煙を上げる活動中の新しい火山です。

つまり東側にある前掛山の麓から湧き出す水は、火山活動の影響を受けているため水温が高くなっているのです。また、東西両湧水群の間に位置する鬼押し溶岩の先端部には、嬭恋村の上水道水源として活用されている湧水があります(写真1)。その水温は夏でも3.5℃と大変冷たく、30秒も手をつけていられないほどです。これには鬼押し溶岩の各所で見られる風穴(夏に冷風を吹き出す岩石のすきま)が関係しているものと思われる(写真2)。



写真1 嬭恋村上水道第一水源(鎌原用水源)脇にある湧水。周辺には風穴があり、夏場に訪れるとその冷気も体感することができる。



写真2 鬼押し園内にある風穴内部でみられる氷柱。2016年6月11日撮影。開業当初は売店で販売する飲料水を冷やすのに使用していた。

解説：鈴木秀和准教授 (駒澤大学文学部地理学科)



イベント情報・活動報告

6月24日(日) 湯の丸高原つつじ祭

湯の丸高原つつじ祭では、特産品の販売やお楽しみ抽選会、飲み物が振る舞われます。また、ステージ上では、ジャズやバンドの演奏なども行われ、あたり一面のつつじと地元の特産品などを楽しむことができます。



- 6月17日(日) 北軽井沢マラソン
- 6月23日(土) 高橋正樹教授(日本大学)ゾカイト研修会
- 7月1日(日) 嬭恋高原キャベツマラソン
- 7月28日(土) つまごい祭り2018
- 8月5日(日) 鎌原観音堂天明3年噴火供養祭
- 8月14日(火) 北軽井沢高原まつり

2018年浅間山北麓ジオパーク活動報告 3月~6月



認定ゾカイト養成講座 浅間牧場遊歩道オープニング

発行元：浅間山ジオパーク推進協議会
Mt. Asama Geopark Promotion Council
〒377-1524 群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原494-45
TEL/FAX：0279-82-5566
URL：www.mtasama.com
E-mail：geo-asama@vill.tsumagoi.gunma.jp
Facebook：www.facebook.com/asamageopark
制作担当：広報・観光委員会

ガイド案内の受付しています
「浅間山北麓ジオパークガイドの会」の認定ジオガイドによる案内(有料)の受付をしております。ご希望の方は、左記、推進協議会事務局までお申し込みください。
【料金表】
ジオガイド 半日¥5,000~8,000
1日¥10,000~16,000



あさマン

編集後記

レンゲツツジの群落がじゅうたんの様に真っ赤に染まるころです。1度は訪れてみてください。ジオパーク通信次号は9月に発行予定です。



あさまびと

Vol.05 2018夏号

特集：ジオパークエリア 紹介



6月



シャジクソウ

7月



ハクサンシャクナゲ

8月



エゾリンドウ

赤いじゅうたんが広がる湯の丸
初夏に湯の丸高原を赤く彩るのはレンゲツツジです。このレンゲツツジは、60万株と云う他には見られない大群落であり、国指定天然記念物です。真夏になるにしたがいヤナギランなどの高山植物が咲き誇ります。蜜を吸いに県指定天然記念物のミヤマシロチョウなどの貴重な美しい蝶が舞います。
湯の丸を目指しスキー場を登り始めると、牛に出会い鳥の鳴き声が聞こえてきます。鹿沢温泉へ通じる道に百体観音が垣間見えてきます。歴史が息づき、自然をまるごと楽しめるのがこの湯の丸エリアです。

ジオパークエリア 紹介

浅間山北麓ジオパークは長野原町と嬬恋村の2町村にまたがって広がってます。浅間山と共存してきた人々の営みや、現在の豊かな暮らしに至る一連のストーリーを学べる場所となっており、エリアをA～Fの6つに分けて案内しています。それぞれのエリアには中心となる拠点施設と38ヶ所のジオサイト（みどころ）があります。現在、ジオパークの入口にあたる国・県道8ヶ所には、エリアに入ったことを示す「ようこそ看板」が設置され、各ジオサイトには「解説看板」の設置が順次進められています。普段何気なく通っている所にもジオパークに関わる何かがあり、新しい発見があるかもしれません。身近なところからジオパークの世界へと足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。

今号は、「D 湯の丸エリア」について右ページにて紹介しています。



ジオパーク総合案内施設

ジオパーク総合インフォメーションセンター (嬬恋村大字鎌原494-45)

A. 山頂エリア拠点

高峰高原ビジターセンター (嬬恋村高峰高原)

B. 鬼押し出エリア拠点

浅間園・浅間火山博物館 (嬬恋村大字鎌原字モロシコ1053-26)
鬼押し出園 (嬬恋村大字鎌原1053)

C. 北軽井沢エリア拠点

北軽井沢観光協会 (長野原町大字北軽井沢1988)

D. 湯の丸エリア拠点

鹿沢インフォメーションセンター (嬬恋村大字田代鹿沢園地)

E. 鎌原大笹エリア拠点

嬬恋郷土資料館 (嬬恋村大字鎌原494)
嬬恋村観光協会 (嬬恋村大字鎌原710-136)

F. 吾妻川エリア拠点

道の駅八ッ場ふるさと館 (長野原町大字林1567-4)

サイトを見れば地域の成り立ちが分かる！ 湯の丸エリア 編

清流のせせらぎと野鳥のさえずりに耳を傾ける



D拠点：鹿沢インフォメーションセンター・D3：鹿沢園地

火山性の地層や湧水などの大地の恵みを実感



D4：たまだれの滝

古い歴史をもつ温泉街「雪山賛歌」発祥の地



D2：旧鹿沢温泉・新鹿沢温泉

中央分水嶺に位置し、火山地質的に貴重



D6：浅間烏帽子火山群 (眺望)

まずは拠点で情報収集！

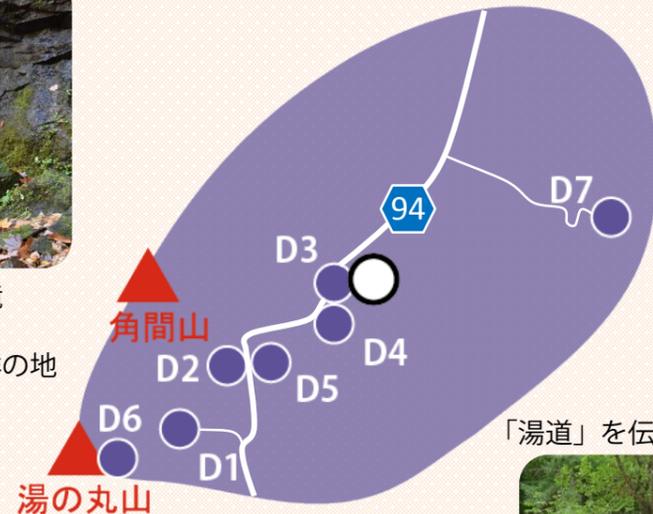
「エリア拠点」鹿沢インフォメーションセンターで情報を集めてから、ジオサイトにいくと、より湯の丸エリアを楽しめます！



全国にばれいしょ (ジャガイモ) の原原種を供給



D7：種苗管理センター (旧嬬恋農場)



「湯道」を伝える道しるべの最終点



D5：百番観音



ミヤマシロチョウ

60万株の貴重な群落 国指定天然記念物



D1：湯の丸レンゲツツジ群落

